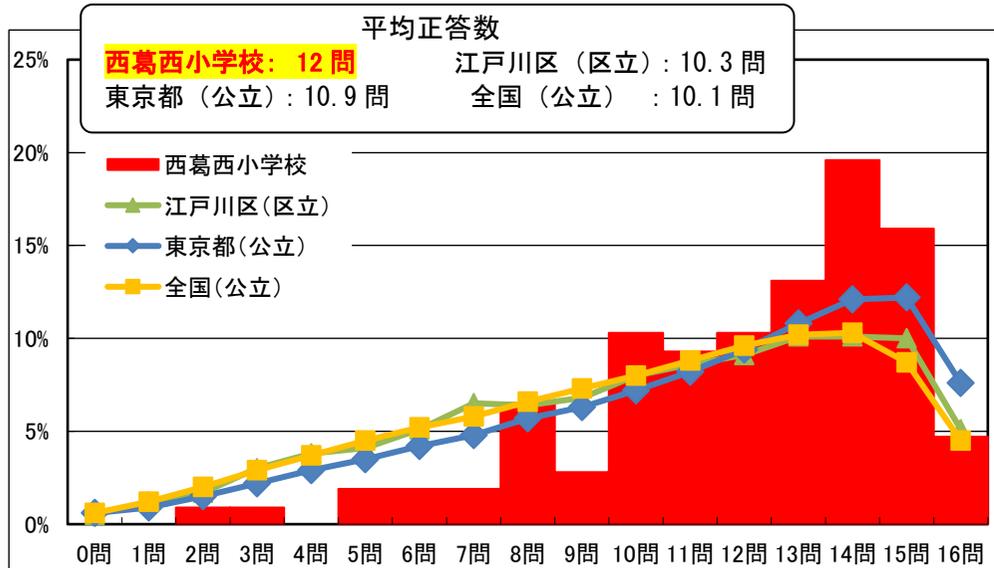


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 西葛西小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
西葛西小学校	40.1	23.3	28.9	7.4
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

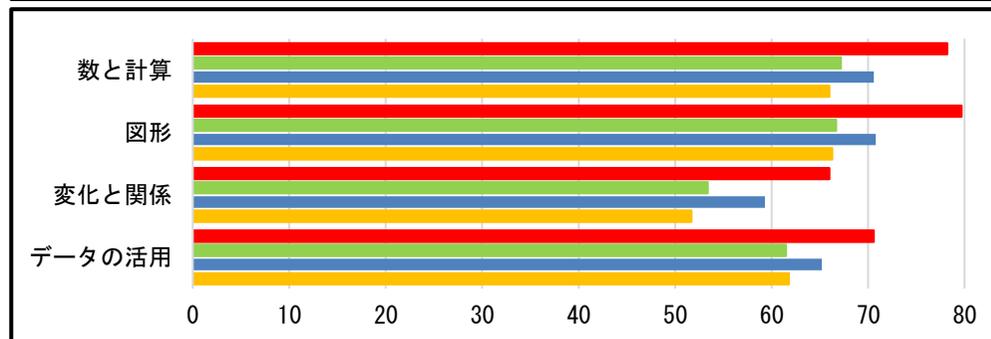
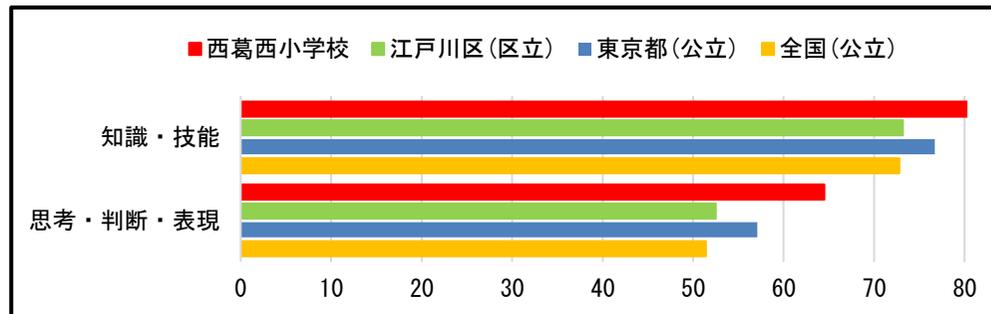
【平均正答率の差】

西葛西小学校	75%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	7ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

- ・ A層群もB層群も全国平均や都平均を大きく上回り、基礎的学力が定着しているといえる。3年生から始まった算数少人数指導が知識や技能の定着に役立っていると考えられる。
- ・ A層B層の割合は半数を超えているが、C層の割合が全体の3割に近く少ないとは言えない。C層群は、学習内容を理解しているものの軽微なミスにより誤答に導かれている集団と考えられる。タブレット学習を活用し、個別最適な学びを進めていく。
- ・ 領域別に見ると、「知識・技能」に比べて「思考・判断・表現」の到達度が低い。今後、自分の考えを友達と共有したり、発表したりする活動を増やし考え表現する力を養いたい。